

# 公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会

## 令和4年度第3回ハイブリッド理事会議事（抄録）

○日時：令和4年6月2日(木)

14:05～17:35

○場所：JSPS ビル 3F 会議室 NO.10 と Web のハイブリッド会議

○出席者：丸会長、亀山・小日向副会長、小野寺専務理事、古賀、村岡、相良、蛭田、横田各常務理事、山口、町田、前田、山本、青山、水村、水島、野村、安井、小竹、笹生、原、栗田各理事、中島、古屋各監事

○欠席者：六角理事

○同席者：赤尾事務局員

### 1. 開会

#### 2. 会長挨拶

2月から5月は環境が激変するなか、計画した大会等も執行され、皆様のご協力に心から感謝します。現在、ウィズコロナを意識しつつ、いろいろな問題がある中でも、ほぼ予定通りに、大会や行事を実行していただいています。これからの3か月もよろしくお願います。

#### 3. 会議成立状況報告

理事数23名中22名出席、監事数2名中2名出席(定款第33条、定足数-12名以上(過半数))

#### 4. 議長選出

会長が議長を務める。(定款第32条)

#### 5. 議事録署名人

会長及び監事(定款第34条)

ホストは小野寺専務理事が務める。

#### 6. 議題

##### 議案第1号議事録の承認について

異議なく承認された。

##### 議案第2号令和3年度事業報告(総括・個々の事業)承認について

小野寺専務理事、赤尾事務局員から配布資料を基に、説明がされた。

##### 議案第3号令和3年度決算報告承認について

配布資料を基に、相良常務理事から決算報告について以下の補足説明がされた。

- \*消費税は中間納付分の一部(約394,000円)が還付されるとこになった。
- \*特定資産30,000,000円の取崩しが、最終的に24,000,000円となり、収支差額は、約19,000,000円の赤字となった。古屋監事、中島監事から以下の監査報告と監査指摘がされた。
- \*年度末で資金ショートが発生したので、キャッシュフローの把握を適時行うこと。
- \*スポーツクライミング部門の担当外理事による予算管理チェック体制が必要。
- \*JOCの補助金交付決定通知が3月31日付けで、確定・精算払い通知が5月23日付け、27日、30日が監査という日程だったが、決算確定日程がタイトなので、総会を1週間ほど繰り下げることも検討してほしい。

\*スポーツクライミング部門の競技で費用が予算より大幅増となり、コロナ対策費用、大会延期による影響、会場変更により特有害な対応が必要になった。

第2号議案令和3年度事業報告について採決し、承認された。

第3号議案令和3年度決算報告について採決し、承認された。

##### 議案第4号山岳スキー選手選考基準について

笹生理事から、説明がされ、次の質疑応答がされた。

\*対象期間は2022年4月1日-2023年3月31日

ガバナンス委員会で再確認後、次回7月の理事会で決定することになった。

##### 議案第5号定款変更について

小野寺専務理事から、第25条3項で、“補欠として又は増員により選任された理事又は監事の任期は、前任者、他の在任理事又は他の在任監事の任期の残存期間と同一とする”に変更が必要と説明がされ、採決後以下のような結果となった。

反対0名、棄権1名(水島理事)、賛成21名。

##### 議案第6号総会開催場所変更について

参加人数が40名を超えそうなので、場所をAP浜松町に変更提案があり、承認された。また、議案第3号に定款第21条(役員定数)の変更だけでなく、第25条3項の変更(役員の任期変更)を入れる説明があった。

##### 議案第7号正会員の承認について

小野寺専務理事から、埼玉:石倉昭一さん退会、加藤富之さん入会、北海道:小野倫夫さん退会、石井昭彦さん入会の報告があり、承認された。

##### 議案第8号正会員の承認について

北海道:小野さんが退会するが、参与の推薦がきている。異議なく承認された。

##### 議案第9号(追加)創立60周年寄附金余剰分(120万円強)用途について

令和4年1月に行った創立60周年記念新春懇談会で365,000円使用したが、余剰金として残っている。事務所改装工事の一部として使用する事の提案がされ、承認された。

#### 7. 報告

##### 報告第1号日山協山岳共済会決算報告について

小野寺専務理事から事業報告、相良常務理事から決算報告書、古屋監事および申島監事から監査報告と監査所見の説明がされた。

\*山岳共済会の会員数の減少への対応が必要なこと。

\*WEB加入やトレラン保険導入は評価するが、山岳保険のさらなるPRが必要。

\*瀬田工業との業務委託内容を含め、債権保全のための方策の検討をすること。

##### 報告第2号LYC報告について

村岡常務理事から、配布資料を基に以下の補足説明がされた。

\*予想より人多く(選手244人)、収益増につながった。

\*競技が21時30分までかかってしまったことや、雨を避ける場所がなく、安全面での考慮が必要と感じた。

##### 報告第3号創立60周年寄附金余剰分(120万円強)用途について

報告議案としていたが、議事議案第9号となった。

##### 報告第4号2023年開催WCについて

丸会長から、IFSCと行っているプレアグリメントの交渉経緯と現状について、村岡常務理事から補足説明があった。

\*来年4月に発生するので、予算化せざるを得ないのではないか。

\*壁の建設費用が、当初より高くなっている(材料逼迫、資材の値上げなどで)。

\*まだ、確定ではなく途中報告なので、状況が変わったら都度報告してゆく。

##### 報告第5号佐賀県とのSC関連契約について

佐賀県知事に提示した文書の説明がされ、文中“JOC認定競技別強化センター”としての推薦、“JMCSA認定選手強化センター(仮称)制度の創設という文言があることに議論がされ、以下の2点の採決が行われ、承認された。

1. 手紙の内容について追認するかどうかの可否 反対0名 棄権0名 賛成18名(3名の理事が途中退席)

2. “JMCSA認定選手強化センター(仮称:)”制度の創設をすることについて

反対0名 棄権0名 賛成18名

##### 報告第6号令和4年度キャッシュフロー予測について

濱田常務理事から、配布資料を基に以下の補足説明がされた。

\*共済会からの20,000,000円の入金は、まだ反映していない。

\*資金ショートは、2022年11月末から12月くらいに発生する見込み。今後も、状況を共有していく。

##### 報告第7号UIAA医事委員会出席について

青山理事と上小牧副委員長が委員となっているが、UIAAに今後の予定を聞いたら配布資料のような情報が提供された。もし、行くときには、この情報を基に稟議が提出される。

##### 報告第8号SDGs推進委員会基本方針について

前田理事から、配布資料の内容を含め、今後HPに載せるように、現在作り込みをしているとの説明があった。

##### 報告第9号岩手県、盛岡市と公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会との

**連携協力に関する協定書(案)について**

佐賀県との連携協力とほぼ同じ内容であること、常務理事会で承認されたことが報告された。

**報告第 10 SC 部の各委員会の新体制委員について**

小野寺専務理事から常務理事会で承認済であることが報告された。

**報告第 11 号**

業務執行理事から、業務執行状況の報告があった。

以 上